

県下一周駅伝

長崎3年ぶり優勝

大村・東彼を逆転



大村・東彼を最終区で逆転、フィニッシュする長崎の山口友子(諫早高) 〓長崎市茂里町、長崎新聞社前

女子総合は対馬が初V

総合順位

- ①長崎 21時間25分46秒
- ②大村・東彼 21時間26分37秒
- ③西彼 21時間36分57秒
- ④佐世保 21時間37分26秒
- ⑤北松・松浦 21時間42分30秒
- ⑥南高・島原 22時間02分18秒
- ⑦諫早・北高 22時間32分39秒
- ⑧五島 22時間34分26秒
- ⑨壱岐 22時間50分56秒
- ⑩対馬 23時間04分53秒
- ⑪平戸 23時間33分37秒
- ⑫福江 23時間51分29秒

長崎新聞創刊115周年記念「第53回都市対抗県下一周駅伝大会」は、13日から15日までの3日間、長崎市茂里町の長崎新聞社前をスタート・ゴールとする計40区間、403・2キロで行われ、最終日の15日は、前日まで首位の大村・東彼に長崎、佐世保、西彼が加わり、激しい累計トップ争いを展開。最後は長崎が大村・東彼を小差でかわし、3年ぶりの総合優勝を勝ち取った。

大村・東彼は初日、長崎に2分16秒差をつけて首位に立ったが、第2日を終え長崎が累計で59秒差まで肉薄した。

最終日の15日は南高小浜町から島原半島を左回りに一周、長崎市に戻るコース。この日も上位が競り合いを見せたが、最終区で長崎のアンカー山口友子(諫早高)が3日間の累計タイム21時間25分46秒でフィニッシュした。2位大村・東彼との差は51秒だった。女子総合は対馬が53分58秒で初優勝した。